

(特非) 日本ハビタット協会

ラオス国における現地主体の環境保全活動 の運営管理体制の構築

ワークショップ の延べ参加者数	3,251 人
植林面積	48.86ha
活動の全体目標 に対する達成度	80%



環境意識を高めるワークショップ

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 各村や学校において自主的な活動が推進されている。小中学校 12 校において、種からの苗木育成と植林による環境保全活動が推進されている。5 つの村において、苗木の増殖活動が行われ、3ha の自主的な植林が行われた。
- 工夫** 地域の状況に合わせた適切な方法を選ぶとともに、地域ネットワークを十分活かしながら事業を進めた。

課 題

経済発展と都市集中化の過程で、森林面積が約 40% に減少し水源涵養機能などが減退しており、現地主体の環境保全に取り組む運営管理体制の構築が求められている。

活動内容

学校でのワークショップの開催による地域全体の環境意識の向上を促しながら、植林や種からの苗木育成、株の増殖活動といった実践を取り入れることで、地域主体で環境保全が行われる土台づくりを進めた。ラオス給水公社、農業局、教育局等の地域ネットワークを活かしながら事業を進め、各活動地域の運営体制の構築と強化を促した。



村人による果樹の増殖活動

今後の課題

大きな問題はなく、順調に進んでいるため、今年度作り上げたものをより強固なものにしていけば、成果目標の達成はもちろん、上位目標の達成にも近付けると考える。